

感 染 症 一 覧

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

保育園入園児がよくかかる下記の感染症については登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してから登園するようご配慮ください。

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
風しん	発しん出現前 7 日から出現後の 7 日間くらい	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1～2 日前からかさぶたができるまで	発しんがすべてかさぶたになってから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳の下の腫れが出現した後 4 日	耳の下の腫れが出現した後 5 日経過し、かつ、全身状態が良くなってから
結核		医師が伝染のおそれなしと認めてから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	目の症状が治まり、医師が伝染のおそれなしと認めてから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用する。7 日間服用後は医師の指示に従う）
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111 など）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し 48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	熱が下がり、1 日以上経過して、食事を普通にとれるようになってから
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノウイルスなど）	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に 1 ヶ月程度ウイルスを排泄しているため注意が必要）	熱が下がりのどの痛みがとれて、食欲が戻ってから
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから
帯状疱疹	水泡を形成している間	すべての発しんがかさぶたになってから
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
とびひ	皮膚がじくじくしている間	患部が乾燥するか、またはじくじくしている部分をガーゼなどで覆うことができるようになってから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 24 時間から発症後 3 日程度までが最も感染力が強い）	<右表参照>